

【評価の観点】 : ① 目標, 指標, 計画等の設定の適切さ ② 達成状況評価 (自己評価) の適切さ ③ 目標達成に向けた取組の適切さ
④ 評価結果の分析の適切さ ⑤ 次年度へ向けての改善方策の適切さ

【評価の基準】 : 4・・・達成度 100%以上 3・・・達成度 80%以上～100%未満 2・・・達成度 60%以上～80%未満 1・・・達成度 60%未満

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	自己評価					
					時期	目標値 (%)	到達値 (%)	達成度 (%)	評価	
確かな学力	対話を通して、学力のさらなる向上を図る。	学力の定着及びさらなる向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 布野中学校と連携を図り、9年後を見据えた一貫性のある授業づくりを行う。生活科・総合的な学習の時間に限らず全教科で探究的な単元づくりを行う。 各教科の見方・考え方を働かせる授業を展開する。またねらいに迫るようなファシリテートを行い、児童の発言の質を向上させる。 自己や他者の思考を整理したり拡散したりして、教科のねらいに迫るために思考ツールを活用する。 ※なお〇印の方策については下記「対話の充実を図る」項目の方策にもなり、対話の充実が学力の向上につながると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語科・算数科の単元末テストにおける到達度をそれぞれ85%以上にする。 三次市学力到達度検査の「活用」内容において、3～6年生のすべての教科(16教科)のうち全国平均を上回る教科の割合を80%以上(12教科以上)にする。 	7月					
		対話の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 能動的な聴き手を育成する。「なぜ?」「でも…」「だって…」などたずねたり深めたりする技法を使えるように、日ごろの授業で指導・評価していく。 全校で「トーキングタイム」を月に1度行い、ペアやグループで身近な話題について対話する場を設ける。その際、対話の技を指導したり上級生の対話の様子から学ばせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話の良さや効果を実感している児童を80%にする。 	7月					
	豊かな心	目標に向かって努力する児童を育成する。	学校行事や学期初めの目標に向かって努力する児童を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 学期初めに決めた目標達成に向けて、具體的な手立てを掲げ努力を続けさせる。また、月末に1回振り返りを行う。 運動会、水泳学習、学習発表会、マラソン大会、なわとび大会における目標を決め、達成のため努力を続け、振り返りを行う。 児童会と連携して、毎月の目標達成のため、学級の取り組みを決め、月末に振り返りを行う。 キャリアログを活用して、意識を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期初めの目標、学校行事の目標達成に向けて「<u>とともがんばっている</u>」と振り返る児童を75%以上にする。 	7月				
			健康・安全教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導や学級指導を通して、規則正しい生活習慣を身に付けさせる。 特に「起床時刻・就寝時刻・家庭学習時間・メディア時間」の目標が守れるよう、スタディーウィーク週間を設け、年間3回行う。 スタディーウィーク週間は、生活チェックカードを毎日提出し、声かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めた「起床時刻・就寝時刻・家庭学習時間・メディア時間」を守れる児童を80%以上にする。 	7月				
健やかな体	児童の健康・安全を守るとともに、体力・運動能力の向上を図る。	体力・運動能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 体育的行事に向けての練習を通して、体力・運動能力の向上に努める。 体育委員会主催の体を使ったレクタイムを行い、楽しみながら体力・運動能力の向上に努める。 新体力テストに向けて、自分の課題を理解し、課題解決に向けて努力を続けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストでAB値を80%以上にする。 	7月					
		健康・安全を守るとともに、体力・運動能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導や学級指導を通して、規則正しい生活習慣を身に付けさせる。 特に「起床時刻・就寝時刻・家庭学習時間・メディア時間」の目標が守れるよう、スタディーウィーク週間を設け、年間3回行う。 スタディーウィーク週間は、生活チェックカードを毎日提出し、声かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めた「起床時刻・就寝時刻・家庭学習時間・メディア時間」を守れる児童を80%以上にする。 	12月					
信頼される学校	地域・保護者から信頼される学校をつくる。	保護者の学校の取組に対する満足度の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 地域実態や学校規模を生かした教育内容を展開し、保護者や地域のニーズに応える。 年間2回のアンケートにより、児童・保護者の学校の取組に対する満足度を把握し、教育活動の工夫改善を図る。 アンケート結果を分析し、面談等で詳細を把握して、改善の必要がある場合には迅速に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しい・授業がわかる児童を95%以上にする。 布野小学校の教育活動に満足している保護者を95%以上にする。 	7月					
		保護者の学校の取組に対する満足度の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 地域実態や学校規模を生かした教育内容を展開し、保護者や地域のニーズに応える。 年間2回のアンケートにより、児童・保護者の学校の取組に対する満足度を把握し、教育活動の工夫改善を図る。 アンケート結果を分析し、面談等で詳細を把握して、改善の必要がある場合には迅速に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しい・授業がわかる児童を95%以上にする。 布野小学校の教育活動に満足している保護者を95%以上にする。 	12月					